

協和工業、タイヤに新工場

ジョイント月産能力倍増

【名古屋】協和工業（愛知県大府市、鬼頭佑治社長、0562・47・1241）は、タイヤ・プラチンブリ県に自動車など向けのユニバーサルジョイント工場を2013年末をめどに建設する。投資額は約2億円。現在は同県内の賃借工場で生産している。新工場の月産能力は現状比2倍の20万本。日系自動車メーカーからの新規受注などを受けて、生産能力を増強する。

タイでの生産はGMBとの共同出資により行っている。新工場は現在の

賃借工場がある「304工業団地」に建設する。日本で冷間鍛造を行い、タイで機械加工や組み立てをする。

ユニバーサルジョイントは継ぎ手の一種。自動車や農業機械、フォークリフトのステアリング機

構などに使われる。協和工業のタイヤの現工場は複数の日系自動車メーカーからの新規受注のほか、現地資本の農機メーカーからの受注増、北米向け輸出増などを受けて、手狭になりつつある。

協和工業の海外拠点は

タイのほか11年に稼働した中国・江蘇省の工場がある。台湾メーカーとGMBとの合弁で、台湾メーカーの工場の一角を借りて生産している。中国でも受注が増えているため、より広い工場を確保する計画。